

「第3期山形県医療費適正化計画」における取組み状況に係る意見について

番号	御意見	県の対応等
1	<p>当協会も医療保険者として、患者の負担軽減及び医療費適正化の観点から後発医薬品の使用促進に向けて取り組んでいるが、それらの推進にあたっては後発医薬品の安全性が確保されていることが前提となる。ところが先般の後発医薬品製造メーカーにおける不祥事により、その根底が揺らぎ、後発医薬品に対する信頼が失われたことによる影響は大変大きいと考えている。県として、医薬品製造会社への立入検査等も含め、後発医薬品の安全性の確保と県民の品質への不安解消に向けたより一層の取組みを強くお願いしたい。（丹野委員）</p>	<p>医薬品製造業者等への立入検査は、専門知識を要する業務であるため、厚生労働省の研修や訓練を受けた職員が対応しております。</p> <p>先発医薬品、後発医薬品に関わらず、医薬品の製造管理は、その品質や安全性に直結するため、新たに医薬品を製造する場合のほか、定期的な立入検査により、適切な製造工程等を確認しております。</p> <p>また、先般の医薬品製造業者等による、医薬品医療機器等法違反事例を踏まえ、検査体制の強化や悪質な法令違反に対する行政処分の厳格化が図られたところであります。</p>
2	<p>受動喫煙防止対策に関して、当支部の生活習慣病予防健診受診（35歳以上が対象）結果からの分析によると、男女ともに年々喫煙率は全国同様緩やかに減少してはいるが、特に男性については依然全国平均（41.5%）を上回っており、43.9%となっている。また年齢別にみると、30代から50代までのいわゆる働き盛り世代で喫煙率が高くなっており、特に35歳～44歳までの男性では51%を超えており、禁煙に向けた啓発活動を更に加速していく必要があると考えている。</p> <p>健康経営の推進を通して、受動喫煙対策について当支部としても働きかけていくが、何よりも幼少期からの喫煙リスクに対するヘルスリテラシーの向上が必要であるため、県を中心として、より一層教育機会の充実をお願いしたい。（丹野委員）</p>	<p>山形県では、望まない受動喫煙防止のために、改正健康増進法及び山形県受動喫煙防止条例に基づき、関係機関と連携し取組を推進しています。</p> <p>主に妊娠期から幼児期は、市町村や医療機関での健診等の場面において、また、学童期以降は、保健所での出前講座として学校等に出向いて、喫煙リスクについて情報提供し考えてもらう機会としています。</p> <p>その他、広報媒体や各種イベント等の活用、巡回訪問やリーフレット配布等を行っているところであり、機会を捉えて効果的な普及啓発に努めてまいります。</p>

<p>3</p>	<p>生活習慣病予防のための、減塩と野菜摂取を推進する「減塩・ベジアッププロジェクト」については、山形の良さを生かしつつ、県民全体の課題である高血圧性疾患への対策として、優れた取組であると拝見しているものの、県民の認知度の向上が課題であると感じており、今後の発展を期待している。</p> <p>当支部の令和元年度医療費分析においては、加入者一人当たり医療費が全国平均を上回り、さらに全国平均との差を拡大させた。要因としては特に循環器系疾患及び内分泌、栄養及び代謝疾患における受診率の高さが突出していることが大きいと考えている。健診結果からも、血圧リスクや代謝リスク、脂質リスクが全国よりも高くなっており、特に血圧リスクにおいては男性が57.2%、女性が37.8%と全国でもワースト7位に入っている。</p> <p>これには、山形県全体の食事・生活習慣が影響していると考えられるため、全県をあげての運動として展開していかなければならない。今後更に我々医療保険者も含めた関係団体を巻き込んだ大きな運動へと発展させていただき、県の医療費適正化、県民の健康増進に寄与していただきたい。（丹野委員）</p>	<p>平成30年度国民医療費の概況(厚生労働省)によれば、本県の一人当たりの医療費は全国に比べ高い状況にあり、医療費適正化のためには、循環器系疾患やその主要な要因とされる高血圧などの予防が重要であると考えております。</p> <p>県では、今年度も「やまがた健康ガイド」を発行し、高血圧症をはじめとした疾病と生活習慣の関係、予防策などについて、県民の皆様に御理解いただけるよう周知啓発を図ってまいります。併せて実践を促すため、「減塩・ベジアッププロジェクト」では、現在、スーパーや食品メーカー等に健康づくり応援企業になっていただき、野菜たっぷりの惣菜の商品化や減塩商品のPRなどしていただく準備を進めているところであり、応援企業や米沢栄養大学等と一緒に“オールやまがた”で取組みを強化してまいります。</p>
----------	--	--